



玉島っ子だより

第14号令和6年1月23日

文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

❷ 雪道で転ばないコツ、調べてみました。

1月23日午前9時現在、「風雪注意報」が発令されています。本日午後から明日の明け方にかけて雪が降ると予報が出ています。子ども達も雪道を歩くことになるかもしれませんので、雪道の歩き方を紹介しておきます。また、積雪の状況によっては、明日の登校についての注意喚起等のメールを発信することもありますので、細やかなメールチェックをお願いいたします。

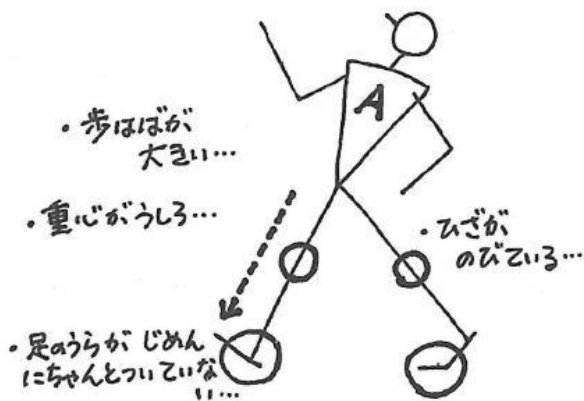
① 小さな歩幅で歩きましょう。

歩幅が大きいと、体の揺れが大きくなって転びやすくなります。また、前に向かって足を大きく踏み出すことになるので、その一歩で滑ってしまいます。滑りやすいところでは、小さな歩幅で歩きましょう。左右の足の幅も少し離れていた方が安定します。

② ひざを曲げて足の裏全体を付けて歩きましょう。

雪道を歩くときは、重心を前に置いて、できるだけ足の裏全体を地面につける気持ちで歩きましょう。また、ひざをピンと伸ばしてしまうと、足の裏全体が地面についても滑りやすくなるので、ひざを軽く曲げて歩きましょう。

《雪道やすべりやすい所ではBで歩こう!!》



③ 歩く速さを急に变えないようにしましょう。

横断歩道で止まっていて歩き出すときや、呼び止められて立ち止まるときなどは、「急に」歩き出したり止まったりしないようにしましょう。歩く速さを急に变えると転びやすくなるので、雪道を歩くときはまず「ゆっくり」歩くことを心がけてください。

④ 急がずに、余裕をもって歩きましょう。

小さな歩幅でゆっくりと歩きますので、いつもより時間がかかります。気持ちがあせってしまうと雪道の歩き方をつい忘れてしまいます。ですので、いつもよりも時間に余裕をもって行動しましょう。そうすると心にも余裕ができて、安全な歩き方ができると思います。